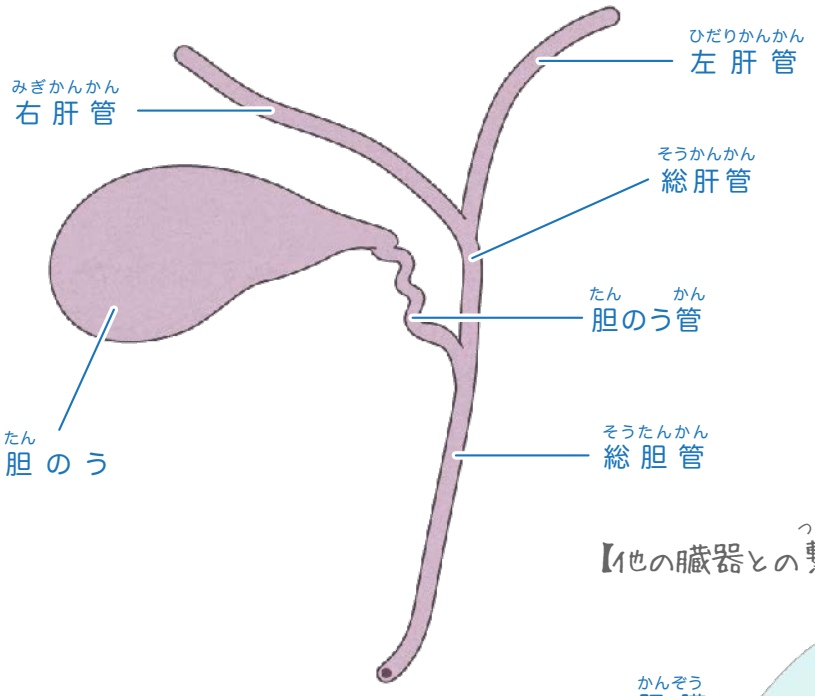
【胆のう-目次】

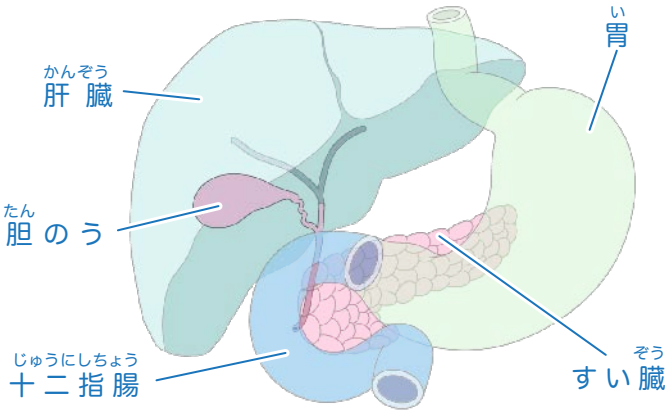
■胆のうについて
p1「胆のうについて」
p2「Q: 胆汁ってどんな液体なの?」
p3「Q: 胆汁はどのように流れているの?」
■胆のうが病気になると・・・
p4「Q: 胆のうの病気ってなに?」

胆のうは、肝臓で作った胆汁を溜めておく保管庫であり、
肝臓、すい臓、十二指腸と管でつながっているんじゃ。

【胆のう】



【他の臓器との繋がり】



小さな袋状のかたちをしているんだね〜。

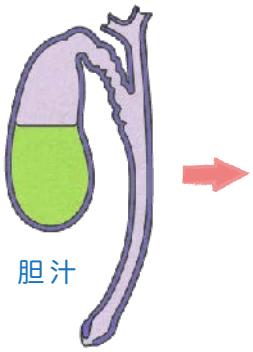
胆のうとは

胆のうは、胆嚢と書きます。肝臓で作られた胆汁を溜めておくはたらきをしています。
胆のうは、肝臓と十二指腸をつなぐ管の途中にあり、西洋梨のような形をしています。
長さは 10cm、幅は 4cm 程度で、50〜60ml の胆汁を貯えることができます。

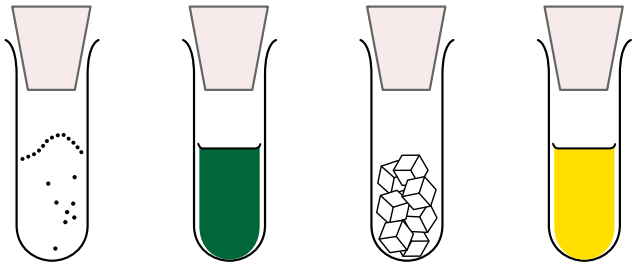
Copyright© Chugai Pharmaceutical Co., Ltd. All rights reserved.

Q：胆汁（たんじゅう）ってどんな液体なの？

脂肪（しぼう）を消化するために必要な黄色い液のことじゃ。



〈胆汁にふくまれる成分〉



胆汁酸塩　胆汁色素　コレステロール　ビリルビン

胆のうに胆汁が溜（た）まると成分が濃縮（のうしゅく）されるんだって〜。

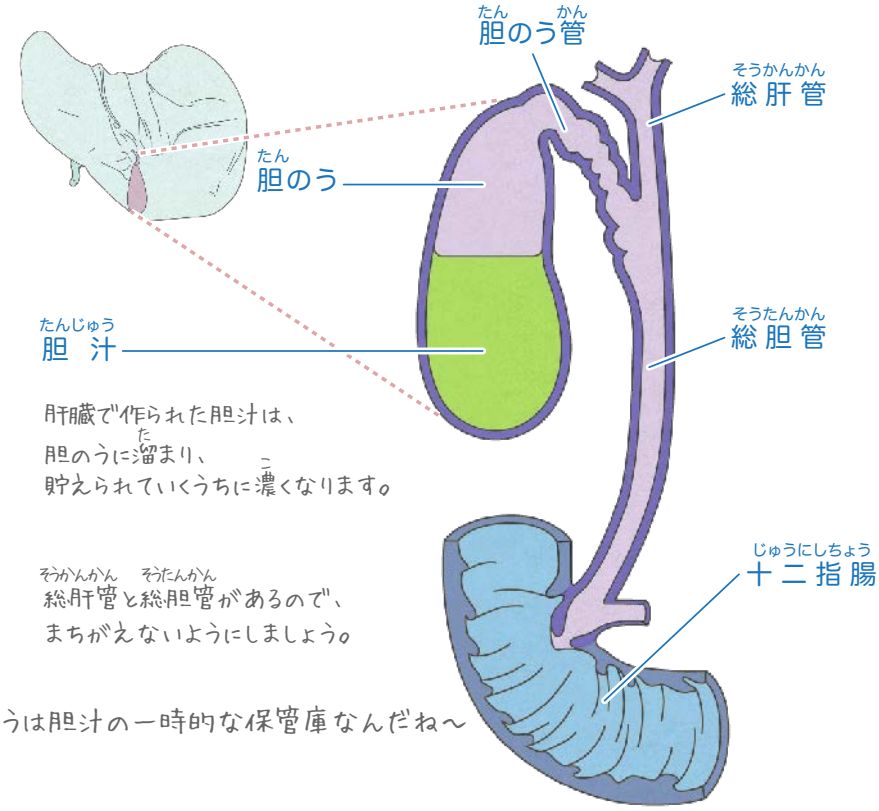
胆汁とは

胆汁は脂肪（しぼう）を消化するために必要な液体で、肝臓（かんぞう）で 1 日に 1 リットルほど作られています。胆汁の成分は、ビリルビンという黄色っぽい色素、コレステロール、胆汁酸塩などですが、およそ 90 パーセントは水分で胆のうに溜（た）められている間に水分が吸いとられ、5〜10 倍に濃縮（のうしゅく）されます。

Copyright© Chugai Pharmaceutical Co., Ltd. All rights reserved.

Q：胆汁（たんじゅう）はどのように流れているの？

胆汁は、食事のあとに、胆のうから十二指腸へ送り出されるんじゃ。



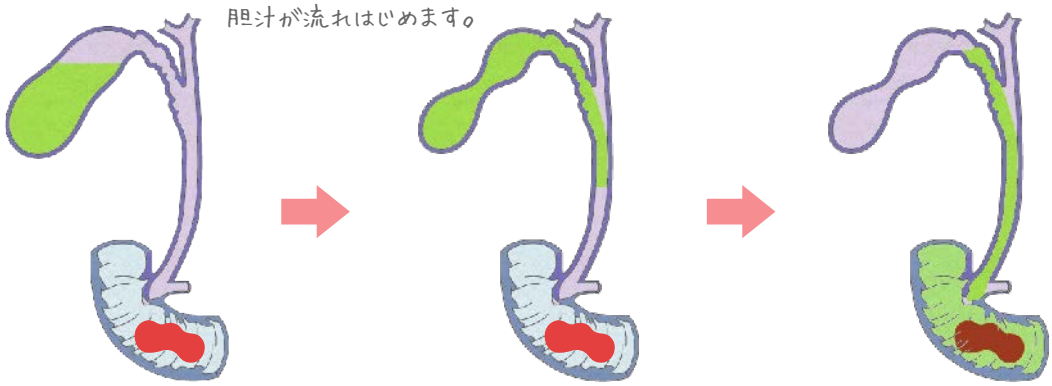
肝臓で作られた胆汁は、
胆のうに溜（た）まり、
貯えられていくうちに濃（こ）くなります。

総肝管（そうかんかん）と総胆管（そうたんかん）があるので、
まちがえないようにしましょう。

胆のうは胆汁の一時的な保管庫なんだね～

【胆汁の流れ】

食べた物が十二指腸に着くと、
胆汁が流れはじめます。



胆汁の流れ

肝臓で作られた胆汁は、食事をしていない時に肝臓から出て総肝管（そうかんかん）を通り、胆のうに入ります。胆のうでは濃縮（のうしゅく）され、一時的に貯えられます。

体内に取り入れた食べ物が十二指腸に到着すると、胆のうは筋肉を収縮させて胆汁を押（お）し出します。そして総胆管を通り、胆汁は十二指腸に注がれます。

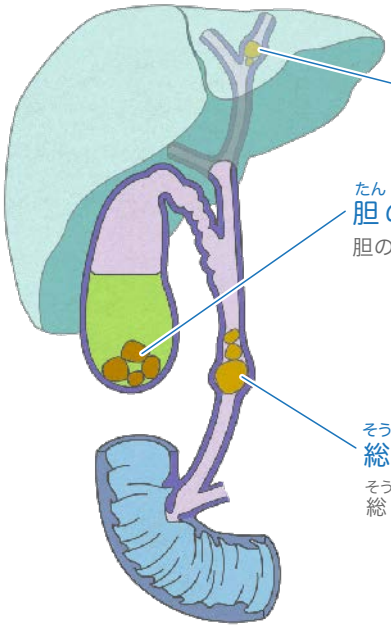
このような胆汁の流れる通り道は胆道（たんどう）と呼ばれています。

Copyright© Chugai Pharmaceutical Co., Ltd. All rights reserved.

Q：胆のうの病気ってなに？

胆石じゃな。脂肪の取り過ぎにより、コレステロールが固まり
石のようになって胆のうに留まってしまうんじゃ。

【胆石〈胆のう結石〉のできる場所】



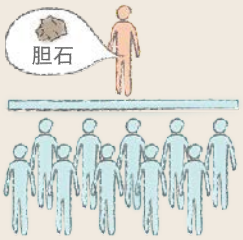
ひゃ～！脂肪のとりすぎでからだの中に石ができるなんて～。偏った食事は良くないのね。

「胆石症」とは

【どんな病気？】

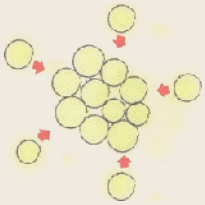
胆石症とは、胆道のどこかで胆汁の成分が固まって結石ができる病気です。
胆石ができる場所は胆のうが一番多く、「胆のう結石」といいます。
ほかにも胆石ができる場所によって、「総胆管結石」「肝内結石」といいます。
胆石によって腹痛や発熱などの症状があらわれる病気を「胆のう炎」といいます。
日本では、食生活の変化と高齢化により、胆石症が増えています。
日本の総人口の 10～15 パーセントが胆石を持っているといわれています。

10%～15%



【原因は？】

原因はさまざまですが、主に脂質のとりすぎや、細菌に感染することがあげられます。
食事のときに脂質をとりすぎると胆汁のなかでコレステロールが固まり、少しずつ大きくなり結石になります。また、胆のうや総胆管が細菌に感染すると、胆汁のなかの色素が変化して結石になりやすくなります。



【治療するには？】

胆石の大きさや位置によって治療法が違います。痛みがない場合には飲み薬で石を溶かします。痛みが激しい場合はまず痛みを抑える薬を使います。胆石を取り出すには、からだの外から衝撃波で圧力をかけて石を砕くか、手術で取り除きます。

監修：公益財団法人 日本学校保健会
Copyright© Chugai Pharmaceutical Co., Ltd. All rights reserved.